

平成24年10月

発行  
秋田県生涯学習センター  
〒010-0955 秋田市山王中島町1-1  
TEL : 018-865-1171  
E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp  
編集担当：社会教育アドバイザー



# 虹色

## 今日はたのしかった！ 舞台芸術を学校で鑑賞できました！

〈素晴らしい表現力〉  
小学校五年生

私は、ストーリーリーにも感動したけれど、あとむのげきで一番感動したのは、フラダンスの踊りや、太陽を表したり、輪で太陽を表したり、うで字を作ったりする素晴らしい技術で演じた。最初人が役を演じるだけの劇だと思っただけの人で、実際にみると、人だけではない、人形、布のような物、ぼうしなどの様々な小物などを使い、げきを盛りあげていました。そういうものを考える人はすごいなと思いました。あまりにもリアルだったので、最初の「マツチ売りの少女」の時からげきに引き込まれていました。私は何回かげきを見たことがあったけれど、その中で一番リアル感があるって、ドキドキハラハラして楽しい、おもしろいげきだと思いました。



〈げきの感想〉  
小学校六年生

劇を見て、すべての人間性について考えさせられたのが「マツチ売りの少女」でした。周りの人達は、少女が死んでしまっただけでなく、かわいそうと思わなかったからです。マツチ一本ぐらいい買ってあげてもいいんじゃないかなと思います。目が前にさうしよう子がいたらさうしようと思えます。

舞台との一体感～身を乗り出して鑑賞する子どもたち



体育館に会場を設営しました

「あとむの時間はアンデルセン」を鑑賞して  
中学校二年生

最初に感じたことは、どの世代の人でも、障がいのある方々が見ても理解できる、どんな人でも見ることのできる劇だと思いました。題名は、ほぼ平仮名、そして、題名を読み上げてくれる、手話を使っているなど様々な工夫がとられていました。また、歌のハーモニーがとてもきれいだし、見ていてとても楽しかったです。作れる物を全て小物や人で表現しているところがおもしろかったし、すごいと思います。出演者のみなさんは、とても楽しそうに演じていて、見ていて気持ちよかったです。

## 豊かな感性を育む生涯学習～秋田県青少年劇場を開催しています

本物のよさに触れる機会をつくり、子どもたちの芸術を愛する心と豊かな感性を育むことを目的とした事業の一つが「秋田県青少年劇場」です。秋田県教育委員会、開催地（地教委、学校等）、法人（日本児童演劇協会・日本青少年文化センター）の三者が主催者となって開催されます。

今年度は、『ジブシーヴァイオリンコンサート』を横手市・大館市・湯沢市・羽後町・天王みどり学園で、『シンドバットの冒険』をにかほ市・横手市・八郎潟町で、『あとむの時間はアンデルセン』を五城目町・秋田市・大瀧村で開催し、県内15会場子どもたちに感動を与えました。

担当は、秋田県教育委員会生涯学習課調整企画・学芸振興班（電話018-860-5185）です。「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」と併せ、今後、各学校等への案内と募集を行います。

# 「行動人紹介ホームページ」がオープンしました!

身近な「行動人」を紹介しながら秋田の元気を見えるようにするホームページです。皆様も身近な「行動人」についてお知らせください。

## ■トップページ「今日の行動人」

「今日の行動人」では、新聞や広報紙、ホームページなどで紹介された行動人の情報と独自に取材した行動人の情報を最新のものから期日順に掲載しています。

## ■取材記事

トップページ下部には、独自に行動人を訪問し編集した最新の取材記事が掲載されています。紹介人が県内を巡回し取材したオリジナルの行動人情報です。行動人の思いや具体的な活動が見えるような記事の作成を心がけています。ぜひ一度お読みください。

## ■「行動人を紹介する」

ページ上部の「行動人を紹介する」

をクリックすると、行動人を紹介するメアドフォームに移動します。このホームページは身近な行動人の紹介を目的としていますので、ぜひ皆様のお近くに紹介したい行動人がいらっしゃいましたら情報をお寄せください。



地域に根ざした最新の情報を常にお届けできるよう心がけていますので、一度ご覧ください。

行動人ホームページ  
<http://lifelong.akita-kenmin.jp/koudoubito/index.php>  
   
 ※「まなびサポート秋田」トップ画面にリンクバナーがあります。

## 県教育庁生涯学習課が出前講座をしています

# 青少年を取り巻く有害情報対策



秋田県教育委員会の調査によると、高校入学時に携帯電話を所有している生徒の割合が95%を占めるようになりました。また、小学校5年生に比べ、中学校3年生のサイト利用時間は11倍に、メール利用時間は10倍に急増しています。さらに、掲示板やプロフ・ブログへの書き込みは小学校5年生あたりから男子よりも女子の割合が高くなっています。しかも、購入時に利用していたフィルタリングも何らかの事情で徐々に解除されていく傾向にあるようです。

便利で役立つ一方で多くの危険性をもつインターネット。使いすぎによる集中力の低下など健康面で、不当請求や架空請求など金銭面で、攻撃的なメールによるいじめ・いやがらせなど精神面で、出会い系による性や命にかかわることで多くのトラブルが発生し、青少年の健全な成長を妨げている実態があります。

家庭教育における安全教育は今すぐ考えたい重要課題です。各市町村の生涯学習事業やPTA研修での出前講座の活用をお勧めします。

【連絡先・・・電話018-860-5184 県教育庁生涯学習課社会教育班】